



カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録

対象：カケハシ・イノウエプログラム 第2陣（米国）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から大学生及び引率者 25 名が 2019 年 3 月 4 日～3 月 11 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

米国：25 名

【訪問地】

東京都、福岡県

2. 日程

3/4（月）	【来日】
3/5（火）	【オリエンテーション】 【日本理解講義】明治大学名誉教授 中邨 章 氏 【視察】浅草、都庁展望台 【意見交換】米日カウンスル交流会
3/6（水）	東京都から福岡県へ移動 【表敬訪問】小郡市
3/7（木）	【歴史的建造物視察】太宰府天満宮 【文化体験】木うそ絵付け体験 【文化体験】狂言体験（大濠公園能楽堂）
3/8（金）	【学校交流】福岡女学院大学・短期大学 【ホームステイ対面式】（朝倉市） 【ホームステイ】
3/9（土）	【ホームステイ歓送会】 【講義】朝倉市福岡北部暴雨災害 【ワークショップ（報告会準備）】
3/10（日）	福岡県から東京都へ移動 【視察】東京国立博物館、台場
3/11（月）	【成果報告会】 【視察】明治神宮、原宿 【離日】

3. プログラム記録写真



3/5 【意見交換】米日カウンスル交流会
(東京都)



3/6 【表敬訪問】小郡市



3/7 【文化体験】狂言体験



3/8 【学校交流】福岡女学院大学・短期
大学部



3/9 【ホームステイ歓送会】



3/11 【視察】明治神宮（東京都）

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ アメリカ 大学生

ほとんどの講義を興味深く拝聴しました。特に、良いこと、悪いこと、問題点等を来日初日から学ぶのは大変興味深いものでした。我々の中には、それらの概念を授業で学び、すでに知っていた者もいたかもしれませんが、同じ話でも、その時を生きた方から

伺うお話は、含蓄に富んだものでした。

学校交流は、最もわくわくするプログラムの一つでした。それは、同年代の学生と出会い、時間を過ごし、お互いに知り合いになれたからです。彼らがハワイに来てくれた時に、もう少しハワイの活動を紹介できていれば良かったと思いました。私は、世界中の人々と親しい友人となれるこのプログラムを楽しみました。

福岡に到着後、小郡市を訪問しました。小郡市では、市の概要や抱えている問題について説明がありました。私は、同市が若者や市民の意見を市の意思決定に取り入れるやり方が好きです。

日本に來ることができ、地方のホストファミリーに迎えられたことは、心温まる思いでした。彼らは私たちを寛がせてくださり、日本の文化が本当に分かったような気持ちになりました。日本の家族の中で暮らすような経験に、大変満足しました。ツーリスト向けのイベントや観光ではなく、日本の人々と時間を共にし、日本の文化や伝統を知ることができました。

◆ アメリカ 大学生

私は、講義は退屈だろうと思っていました。しかしそれは大きな間違いでした。日本の歴史的背景を知り、大変驚きました。過去には日米関係が良くなかったことを知り、今ではこんなにも関係が改善したことに衝撃を受けました。

学校交流は、この旅で最も素晴らしい経験でした。生涯の友人を作れただけでなく、時を超えた関係を築くことができたように感じました。日本の学生たちと共有した一つの思い出がどれも素晴らしく、これから私たちの未来に何が待ち受けているのか、大変楽しみです。

都庁は目を見張るようでした。建物に足を踏み入れることができ、大変光栄でした。景色を楽しみました。

時間は限られていましたが、ホームステイは日本での最後の思い出となりました。ホストファミリーは大変優しく親切で、言葉が通じなくても身振り手振りを交えて思いを伝えてくれました。彼らは、私が今まで出会った人々の中で最も素敵で情熱的な人達です。私は、彼らのゲストになれたことが、何よりも嬉しいです。

◆ アメリカ 大学生

各地での講義では、それぞれの地域で引き継がれた日本の文化や生活様式が紹介されました。これらの講義なしには、日本の文化や生活を理解することは難しかったでしょう。講義では、同じ日本の中でも、各地域で異なる文化があることを学びました。学校交流は生涯心に残る経験となりました。出会った学生たちと、お互いの文化を体験することで関係を築きました。同世代で共通点も多い学生同士でのこのような経験は、何物にも代え難い時間でした。言葉や文化は違っても、折り紙、カラオケやその他の体験を通して、一生の友人となりました。日本の学生がハワイを訪問した時、私たちも同じように、ハンバーガーを食べたり、ビーチに行ったりして私たちの文化を伝えました。このプログラムを通して私たちが共有した経験は、言葉や文化の壁を乗り越えるのに役立ち、一緒に折り鶴を作ったり、フランドンスを踊ったりするうちに、壁はなくなっていました。

5. 受入れ側の感想

◆ 学校交流参加学生

日本の制度や考え方、文化、料理、景色、私たちの大学について、本当に様々なことに興味を持ってくれてとても嬉しかったです。また、彼らの気づきや考えから、当たり前前に感じていたことやネガティブに捉えていたものを違う視点で見ることができたり、自身の未熟さに気付かされたりと、私自身も学ぶことが多かったです。

ハワイ・パシフィック大学の学生は、とても気さくで明るく、積極的に話をしてくれる人が多かったため、とても話しやすく、出会って間もないはずなのに、知り合って随分たった友達のような感覚で、一緒に時間を過ごすのが楽しくて仕方がなかったです。

今回の経験や出会いを通して、異文化理解・交流、お互いの文化や歴史を学べたことはもちろん、人種や性別、過ごした時間は関係なくこんなにも素敵な友達ができ、架け橋となり得る関係が作れたことがかけがえのない宝物だと思います。

◆ 受け入れ先の学校

一日とはいえ、米国人学生を団体で受け入れたのは初めての出来事で、当初は本学の学生では語学力、知識、ディベート力などの点で力量不足ではないかとの懸念をもっていました。今回の受け入れでそういう懸念は完全に吹き飛びました。

一つには本学の学生の秘められた力と本学の学風ともいえる素直で純粋な面が遺憾なく発揮され、学校の代表としてこの交流を成功させるのだという目標に向かって皆が一所懸命に取り組んだことがあります。そして米国側の学生がハワイの人々で日本人学生との交流に意欲的であったことによると思われます。

ハワイの学生達は日系人の歴史を熟知し、ハワイが日本人にとっても一大リゾート地であるからか、大変親日的で日本への関心が強いことが良く分かりました。

こうした条件がそろえば、若者たちが意気投合して仲良くなるのに時間はかからず、人種国籍文化の壁を軽々と乗り越えて、生涯の糧となるような貴重な交流ができたと確信しています。

◆ ホストファミリー

外国からのホームステイ引受けは初めてで、1泊限りでしたが、日系の学生さんも多く、夕食はたこ焼きパーティで子ども達と楽しく過ごすことができました。両親が料亭を営んでいましたので、みんなで桜餅を作りました。美味しく食べてくれたでしょうか。ハワイと繋がりができてとても喜んでいます。

6. 参加者の対外発信

 12:41 Melissa Jean Aguda Friday at 5:43 PM Visited the beautiful Dazaifu Tenmangu shrine in Fukuoka & we were also given the opportunity to paint our very own Uso birds!! Uso birds symbolize letting go of all the negativity and welcoming in positivity into our lives. It is also a play on words where uso means "to lie" in Japanese. There are shrines that hold uso bird exchanges, where those would pass these uso birds around and if someone receives an uso bird with a gold head, it is considered luck and symbolizes that they've directly received blessings from the uso bird! They're also great to keep on display, and to ask for forgiveness when we've told a lie. #kakehashi2018 #tomodachi #jice #hawaiiipacificuniversity #japan #tokyo	 12:39 PM 77% Post 1nessssssaaa1 Tokyo Metropolitan Government Building Liked by ashlynnvania and 15 others 1nessssssaaa1 2019 summer olympics are coming soon! #japan #tomodachi
歴史的建造物視察についての発信 (Facebook) 福岡の太宰府天満宮を訪問しました。鶯(うそ)鳥の絵付け体験もしました。鶯は、邪気を払い、幸運を招く鳥です。また、日本語で「うそ」は「嘘をつく」という意味もあります。神社で行われる鶯替え神事では、参加者が鶯鳥を順々に取り換え、最後に金の鶯を手にした人に、幸運が訪れるそうです。作製した木うそは、置物としても美しく、嘘をついてしまったら、許しを請うこともできます。	視察についての発信 (Instagram) 東京都庁：2020 年夏のオリンピックが、もうすぐやって来ます。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

Group 1: Omoiyari of Japan Implementation • Talk with friends and family about our trip • Social Media postings • Practice customs 	Group 2: There is more to the plate. ACTION PLAN 
アクション・プランの発表(グループ1): 日本の思いやり 日本で発見した多くの「思いやり」を大学の友人や家族と共有し、実践する。友人や家族に直接話をする。また、3月15日迄に個人が自分のネットワークに投稿し、4月15日から開催される Student Showcase に参加し、発信した内容を展示・発表する。	アクション・プランの発表(グループ2): 食卓を豊かに 健康的で豊かな日本の食生活を見て、食生活の健康に与える影響を認識した。グループ全員が、SNS や Student Showcase を通して情報を発信し、地域の人々の「食と健康」に関する認識の向上を図る。健康的な食生活や、地産地消を自ら実践し、地域の人々へ推進する。活動は、帰国後すぐに開始し、継続的に実施する。
Group 3: Environment Action Plan - When • Everyday - in our daily routines - and at home • Life choices - at an individual level ■ Recycle at home ■ Grocery shopping and reusable bags ■ Energy efficient lighting • It can help you save more money  Action Plan - Why • We only have one home • The protection of the environment is humanity's duty • It is possible to make a change through positive actions  Fresh Start • We would like to challenge ourselves and you to make a fresh start • What does it mean to have a fresh start • Reduce, reuse, and recycle • Challenge yourself to have a environmentally conscience mindset  Who • Who is responsible? • We can incorporate Japan's environmentally clean mindset into our community • Innovation is a function of our behavior • The power to make a change starts with us. 	Group 4: Global Citizenship Global Citizenship Final Thoughts • Forward-thinking & progressive development • Strong sense of community & culture • More similarities than differences 
アクション・プランの発表(グループ3): 環境 地球は我々の唯一のかけがえのない住まいであり、環境を守るとは人間の義務である。行動を起こすことで変化を起こせる。行動は私たちの毎日の生活の中で実施する。一人ひとりが生活の各場面で適切な選択をする。(家での3R, 食料雑貨の買い物, エコバッグの使用, エネルギー	アクション・プランの発表(グループ4): 地球市民 日米の文化を様々な視点で比較した。個人主義のアメリカと集団を重んじる日本。日本では地域や文化への帰属意識が高い。それでも、相違点より類似点が多く、グローバル化(食、文化、伝統、人々等)を感じた。グローバル化の理解を広めることは大切である。前向きにそして、少

効率の良い照明の使用等) 環境を守ると同時にお金も節約できる。日本の環境にやさしい心構えを私たちの地域にも取り入れる。私たちの行動から変化を起こす。	しずつ共に発展して行きたい。これらの経験や思いを, SNS を通して友人や家族をはじめ, 多くの人々に共有する。
--	--

Post Program Schedule

3/15/19

Submit Travel Blog Media Portfolio

- ・ Use of #hashtags on all media postings
- ・ 9 photos (minimum) with captions, date, location
- ・ 3 Print Blog style posts (150-300 words each w/ photo credit and caption)
- ・ 6 Social Media posts before and during travels in Japan- screen shots of your posts (using promotional #hashtags on your social media channels, Twitter Instagram, Facebook, YouTube, etc.)
- ・ 1 Video Reflection or Interview on location in Japan- 1:30 minutes uploaded to YouTube
- ・ Testimonial Reflection & Gratitude paper (1-2 pages including information about your background, your experience in the program and how it affected you)

4/15/19

Attend the STUDENT SHOWCASE the week of April 15

Elements of Travel Blog media portfolio will be presented during the event.

4/22/19

Submit a report of the implementation of action plan

全体：プログラム参加後の計画

2019 年 3 月 15 日

旅のブログやメディア投稿のポートフォリオを参加者全員が提出する。

- ・ すべての投稿に#ハッシュタグを使用
- ・ 表題, 日付, 場所を記載した写真 9 枚を投稿
- ・ ブログ投稿 3 本 (150-300 語 写真出典注記, 表題)
- ・ SNS 6 件を投稿

(各自の SNS, ツイッター, インスタグラム, フェースブック, ユーチューブ等)

- ・ 日本で撮影したビデオまたはインタビュー 1 件 (1 分 30 秒 YouTube) を投稿
- ・ 感想及び感謝の言葉 (自己紹介, プログラムでの経験, どのような影響を受けたか)

2019 年 4 月 15 日

4 月 15 日の週に開催される Student Showcase に全員が参加する。

提出された「旅のブログやメディア投稿のポートフォリオ」の一部を, 発表・展示する。

2019 年 4 月 22 日

アクション・プラン実施報告書を提出する。